

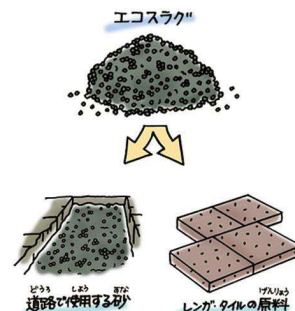
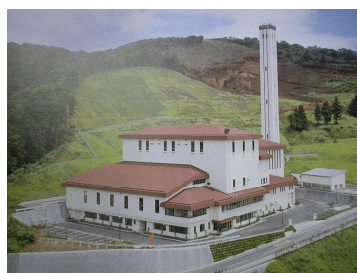
清掃の現場から考える

ゴミ追跡最終回の今回は、親和会ゴミ収集の将来を考えます。

ゴミ収集車を追い、最終処理場まで到達した広報記者、再資源化までの道のりは長かった。

可燃ゴミ

伊東市内で収集された可燃ごみは鎌田の環境美化センターに搬入され焼却されます。一日当たり約10トン排出される焼却灰は、金属類など除去した上で栃木のセメント工場や横須賀の建材工場に引き渡されます。



ペットボトル

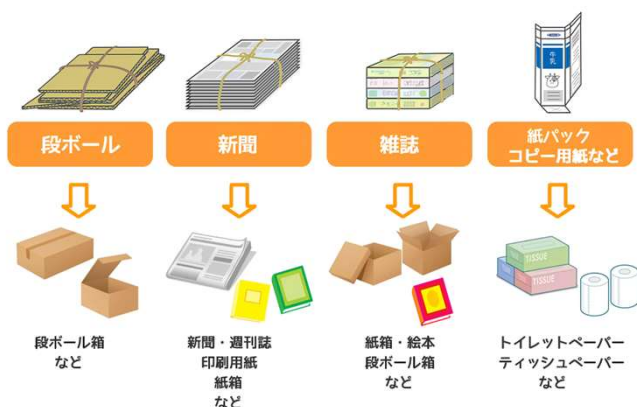
ペットボトルは美化センターから、専門業者に渡され人手による選別（取り忘れたキャップやラベルを取る）の後、圧縮されてリサイクル工場に運ばれます。リサイクル工場ではフレーク状に粉碎、洗浄され異物が除去されます。選別されたフレークは溶かされてポリエチレン原料として再利用されます。



古紙

記者宅ではダンボール以外は新聞屋さんからもらう紙袋に新聞紙も雑誌、チラシも紙封筒まで詰め込んでヨシとしていました。でもこれじゃダメなんです。だって、下図のように紙質によって再生目的が違うんだそうです。

新聞紙は溶かすとインクが浮かぶし、雑誌、チラシはコーティング溶剤が分離する、紙封筒は窓の部分のパラフィンを除去するとか、まだまだ再利用には不十分。フジタから持ちこまれた雑多な古紙を古紙業者さんがバラバラにして手作業で再分別、これで初めて富士市の製紙工場に持ち込めます。



まとめ

日本のごみリサイクル率（リサイクル量/ごみ排出量）は2020年段階で20.0%とドイツ(48.6%)、スイス(42.0%)に比べるとまだ低い。加えて一人当たりのごみ排出量(消費量)も多いのだそうです。一方で高齢化社会を迎えゴミ出し困難者も出てきて、収集箇所の増加や戸別収集も必要となるかもしれません。労働人口減少の中、どのように収集体制を維持するか、長期的視点での検討が必要です。

親和会歩こう会の再開

ヒガンバナ咲く池の郷と水源を尋ねて

天候に恵まれた9月30日(土)、午前10時に出発した参加者13名は、案内人の丹羽さん(第四地区)と共に、のんびりと約4時間の散策を楽しみました。

「おたまばあさんの石」にはイボ取りの上手なおたまばあさんが、落ちてきた大石で亡くなったとの伝説。ドンドン淵への山道は急坂でしたが、滝の冷風が涼しく心が癒されました。



菖蒲園では、ヒガンバナが今を盛りと咲き誇っていました。昼食後には菖蒲園の管理をされている高橋義光さんが「池の赤牛」を紙芝居でご披露くださいました。

八幡野おさかなクラブ

伊豆高原エリアまちづくり協議会

八幡野漁港で新たな試みの朝市が実験的に開催されるのお話を聞き、伊豆高原エリアまちづくり協議会を訪問しました。八幡野漁港で秋から始まる伊勢エビ漁。このエビ網にかかる魚は市場に出回ることなく廃棄されるとのこと、地元の方々に販売しようとの試み。エビ網にかかる魚は、

スズキ・ヒラメ・カワハギ・ブダイ・はた・かさご等の高級魚。不定期開催ですが、エビ網を仕掛けた翌朝6時ごろに朝市が始まります。せっかくの新鮮な高級魚を無駄にしない試みなので、もちろん低価格で販売とのこと。早朝5時から準備(魚の選別や値付けなど)を始めます。お魚の選別・値付けボランティアを募集中とのことです。開催日などの詳細は本誌上でお知らせします。



並木カフェ だより

並木カフェに寄せられたお悩み・お困り・ご意見を紹介します

Q 親和会ニュース先月号に、スプレー缶や食用オイル缶などは、中身を使い切ってから「カン」に出すよう書かれていましたが、伊東市に確認したところ「金属」でした。

A 「金属類」収集日は基本的に月一回です。親和会ではこれらを「カン」として月3回収集しています。ビンの金属製のキャップも「カン」で結構です。その他にも、割れた陶器などは梱包せずに出すなど色々ありますが、お気づきの点があればどうぞお聞かせください。

その他、浄化槽の保守点検の方法や、上水道の安全性、図書館問題など。広報委員会では関係部会とも確認し、可能な範囲でお知らせしてまいります。



【速報】アサギマダラ、ついに飛来

環境ボランティア

10月14日午前11時30分頃、環境ボランティア運営委員の新谷さん(第四地区)のお庭に咲いているフジバカマに、アサギマダラ一頭が飛来しました。

今春からアサギマダラの飛来を目指して、親和会地域にフジバカマを植えてきた環境ボランティアメ

ンバーの夢が叶った瞬間です。新谷さんは大はしゃぎで環ボラメンバーに連絡。駆け付けた五、六名のメンバーも昆虫図鑑を片手にアサギマダラと確認。



大喜びされている皆さんの笑顔が目に見えます。拍手喝采!



親和会「夢サポ」敬老会

十月七日(土) 八幡野コミセンにて

コロナ禍で中止されていた敬老会でしたが、今年は盛大に開催されました。健康体操から始まり、プロの津軽三味線、ピアノのソロ演奏に続きコーラスとテノール独唱。盛りだくさんの一日に会場された皆様は笑顔いっぱいでした。



津軽三味線 小山流 小山貢寿香先生 による庄巻の演奏



大月さんとAmiの仲間たち迫力の大熱唱

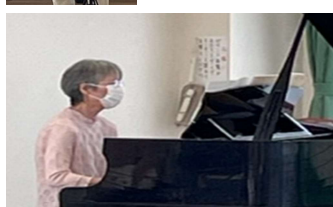
小川さんのリードで健康体操 →



↑ 夢プロの皆様ありがとうございました



← 夢プロ西貝さん MCお疲れ様です



洗練された音色 谷村さん

『野菜、いちじく、人の集い』

第一地区 斉藤さん

私達家族が伊豆高原に移住して、4年の月日が流れました。この町の事について、右も左も分からない私達に、親和会の方々、そしてご近所の皆さんがとても親切に接してくださったお蔭で、楽しく暮らす事が出来ています。

庭に草花を植え始めた事から、草花に限らず様々な野菜や果物の栽培、更にはメダカや金魚を沢山飼育するようにもなり、いつの間にか、かなり賑やかな庭となりました。



私のお庭自慢

趣味が高じてより沢山の野菜を自然志向で栽培するようになり、庭先(自宅駐車場)で販売をさせて頂くようにもなりました。いつもお世話になっている秋本さん、山本さんが栽培するいちじくや、いちじくジャムも販売するようにになりました。

他にもご近所の皆さんが育てた野菜を販売したり、メダカや水草の販売、そしてタロット占いのコーナーも設置するようになりました。



あれやこれやと賑やかな、色んな物、人、ご縁の集まる楽しい庭となりました。このように楽しく過ごせて、伊豆高原へ越してきて良かったと思っています。

そしてもうひとつ「お庭自慢」と言えば、庭先から大室山が見えるという事です。「山焼き」の際も庭にテーブルと椅子を出して、美味しいものを頂きながら、眺める事が出来るのは、やはりとても贅沢な事だと思っています。自宅前には桜並木があり、近頃では周辺にお店を出される方も増えて、相乗効果でウチの庭も、益々賑やかで楽しい庭先になるのではと楽しみにしています。

美しい草花や木々に彩られた庭も勿論素晴らしいのですが、こうした人と人とのご縁と笑顔に彩られた賑やかな庭も良いものだと思っています。



動物医よもやま話【1】 矢島 俊男 院長(やんもの里動物診療所)

こんにちは、編集部の方から大変熱心なご依頼があり、今回からコラムを担当させて頂く事になりました矢島です。私は獣医師となって35年、ここ伊豆高原で動物病院を開業して25年になります。動物医療に携わった中で得た経験や知識など、愛するペットとの生活を今後も楽しんで頂くための有意義な情報を皆様にお伝えできればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

第一回目の今回は少し固い話ですが「ペットの災害対策について」です。昨今、日本各地で様々な災害が甚大化していることは皆様ご承知の通りです。記憶に新しいところでは一昨年の熱海伊豆山で起きた土石流災害です。急峻な山と海に囲まれた伊豆半島では、同ような災害がどこでも起こる可能性があります。

東日本大震災ではペットが避難所に入れず、一緒に車中泊をする被災者が続出したり、同行できず野生化したりなど、動物の避難は大きな課題となりました。

その後、環境省によって避難所で被災者とペットが共存するための同行避難のガイドラインが作成されました。環境省は自治体にもこれに沿って取り組むよう促していますが、伊豆山土石流災害では熱海市内のホテルが避難所となったため、ペットの同行避難は許されませんでした。

これらを教訓とし、伊東市では昨年からペットの同行避難が可能な避難所が設けられ、また今年3月には私の所属する田方獣医師会と災害時における動物救護活動に関する協定を結びました。行政側も徐々にではありますが動物の災害対策に取り組んでいます。

動物を家族の一員として日々生活を送っている我々も、災害時の備えを平時から取り組んでいく必要があります。今回は日頃から取り組むべき動物の災害対策についてお話しします。



サークル紹介「のんちゃん体操」

毎月第2金曜日に城ヶ崎老人憩いの家で開催されている「のんちゃん体操」にお邪魔し、主宰されている第三地区の関村さんにお話を伺いました。



2時間の教室は休憩を挟んで3部構成です。第1部は『ストレッチ体操』を行い、転倒しない身体作りを目指しています。第2部は深い呼吸法を取り入れた「病気の予防と治療」に効果があると言われている『練功十八法』を行います。これは「太極拳」と共に中国の三大国民体操の一つで健康維持に大きな成果を上げているとのこと。第3部はゆったり動く『太極拳』を行い心肺機能と足腰の強化を図ると共に、手と足の動きを同調して行うことで「脳を快活」にすることを目指します。教室の終わりには数分間の『マインドフルネス』を行い、自分と向き合うことでストレス軽減に努めて居ます。さあ皆で健康寿命を延ばし、いつまでも健康で若々しく元気に生きましょう(関村信行)

ふれ愛 並木カフェ	11月2日(木) 午後2時～	親和会事務所	第1 木曜日
Highlander Topics	11月15日(水) 午後1時30分～	八幡野コミセン 2階会議室	隔 月
パソコンサークル	11月7日(火) 午後1時30分～	親和会事務所	第1 火曜日
のんちゃん体操	11月10日(金) 午前10時～	老人憩いの家	第2 金曜日
英会話サロン	11月 6日(月) 11月20日(月) 午前10時～	親和会事務所	第1・3 月曜日
小物作りの会	11月13日(月) 午前10時～	親和会事務所	第2 月曜日
サロン・テ・スペイン語	11月15日(水) 午前10時～	親和会事務所	第3 水曜日
絵手紙の会	11月8日(水) 午後1時30分～	親和会事務所	第2 水曜日
うたう会「夢の和」	11月18日(土) 午前10時～	八幡野コミセン3F	—

122回 親和会ゴルフ愛好会

11月16日(木) 稲取ゴルフクラブ 8時36分集合
参加希望・キャンセルは11月10日迄、平松(53-1615)まで

新イベント Highlander Topics

初回は前理事長市原氏がお話し下さいます。理事と理事長を併せ10年間にわたり親和会の運営に携わり貢献されました。親和会活動からのお話と趣味のヨット・セイリングでの逸話などが期待され、同時に親和会からは長年の活動に対し慰労表明の機会となりましょう。

11月15日(水) 午後1時30分より

八幡野コミュニティセンター 2階会議室

Highlander Topics は、隔月の開催を予定し第2回目は1月です。伊東消防署八幡野分署から「消防ワークショップ」の講習会として

①救急車の利用方法と題し救急搬送状況や正しい救急車の利用方法

②予防救急と題し日常生活でどのような事故対策を考え予防に取り組むかなどについてのお話しです。

出席希望者数把握が必要なため親和会事務局宛電話0557-53-1122に12月10日以前にご連絡下さい。居宅内事故の安全対策と防止への認識を深め事故を未然に防ぎましょう。奮って参加を。

環境ボランティア

11月25日(土)午前10時～

親和会事務所 集合

第1・2地区の道路標識板とカーブミラーを磨きます。

地区連絡会 開催日程

第1地区	11月9日(木) 午前10時 八幡野コミセン2階和室
第2地区	11月11日(土) 午後1時30分 八幡野コミセン3階大会議室
第3地区	11月11日(土) 午後1時30分 城ヶ崎老人憩いの家
第4地区	11月11日(土) 午前10時～ 城ヶ崎老人憩いの家

輪番の班長は掃除当番ではありません

11月のゴミ出し日

ゴミステーションはルールを守って

可燃ゴミ	ビン	カン	金属類	古紙 段ボール	われもの 乾電池	ペットボトル
	9 (木)	2 (木)			9 (木)	7 (火)
月・水・金・日	16 (木)	12 (木)	16 (木)	14 (火)		21 (火)
	30 (木)	30 (木)		28 (火)		28 (火)

— キリトリ線 —